

平成30年度 夏季隊集中訓練



(発行所)
11特OB会

(連絡先)

札幌市南区
真駒内17番地

第11特科隊
広報援護室
TEL (011)-581-3191
内線2645

(印刷)
札幌造型合同会社



主な記事

二面 平成30年度隊武道競技会
三面 防災訓練支援・防災懇談会
四面 旅団行事

五面 隊創立10周年記念行事
六面 転出入者の紹介・各連絡事項等

平成30年度旅団観測者集合訓練

自己位置の決定・目標の標定訓練

平成30年6月12日から19日までの間、真駒内駐屯地、北千歳駐屯地及び矢白別演習場において、平成30年度旅団観測者集合訓練担任した。

本訓練は「情報と火力の連携」の実効性向上を目的とし、旅団隷下の部隊の各情報収集部隊要員に対し行われ、第10普通科連隊、第18普通科連隊、第28普通科連隊、第11戦車大隊及び第11偵察隊から15名の隊員が参加した。

訓練は当初、真駒内駐屯地において射撃の基礎及び射撃の観測に関する基礎的事項の教育を行い、じ後、射撃の観測訓練

19日の修了式では、隊長から「本訓練はここで終わりではなく、原隊で普及すること」と訓示され、訓練を修了した。

訓練修了式での隊長訓示



平成30年度初の実射



陣地の安全化を行う隊員

本訓練は、火炮射撃の練成と部隊の基本的行動を演練し、特科隊検閲に向けた練度の向上を目的に行われ、関係弾道癖射撃、隊実射練成、中隊実射練成・検閲、陣地の偵察・占領、陣地変換訓練及びOS訓練を行った。特に陣地の偵察・占領及び陣地変換訓練では、隊長以下新体制での編成をもって隊長随行班、中隊長随行班の行動及び主力の進入要領を演練し、更なる練度向上を図った。

陣地占領・偵察訓練



シミュレータ訓練



射撃の観測訓練



訓練修了式での隊長訓示

平成三十年度

隊武道競技会

平成30年8月10日、真駒内駐屯地東体育館において、平成30年度隊武道競技会を行った。

本競技会は、近接戦闘能力の向上、闘争心の涵養、敢闘精神の養成、中隊の団結及び士気の高揚を目的として、拳法と銃剣道の部に区分し、中隊対抗方式(団体戦)及び個人戦で競技を行った。

選手は、中隊の名譽と誇りを胸に、周囲からの熱い声援を受け、全力を尽くし、これまで練成した成果を遺憾なく発揮した。拳法の部では、若年選手が往年の選手に勝利するなど、若年選手の活躍が目立った。また、銃剣道の部では、格上を相手に健闘する場面や大将戦(各中隊とも中隊長)にもつれこむ等、会場内は大歓声とともに大いに盛り上がった。拳法の部では本部管理中隊長が、銃剣道の部では第3中隊がそれぞれ第1位の成果を収め、両部門の総合成績により、第2中隊が優勝を果たした。尚個人戦の成績は以下のとおり

優勝

- 銃剣道(30歳以上) 第1中隊 内山2曹
- 銃剣道(29歳以下) 第3中隊 横島士長
- 拳法 第2中隊 露木士長



開会式で選手宣誓をする第3中隊吉川士長



拳法(個人戦)で優勝した第2中隊露木士長(右)



銃剣道(個人戦30歳以上の部)で優勝した第1中隊内山2曹(左)



銃剣道(個人戦29歳未満の部)で優勝した第3中隊横島士長(左)



総合優勝した第2中隊



決死の覚悟で挑んだ大将戦(左 本部管理中隊長 右 第1中隊長)

平成30年度

陸曹候補生履修前教育 総合訓練



降り続く雨の中、分隊長の号令に神経を集中

平成30年6月12日(13日、悪天候の中、北海道大演習場西岡地区及び真駒内射撃地区において陸曹候補生4名に対する履修前教育総合訓練を行った。本訓練は、小部隊の指揮官としての状況判断能力、指揮能力の訓練を確認する目的で行われ、隊長、教育隊長、最先任上級曹長、各中隊長及び各中隊前任上級曹長が激励する中、履修前で培った知識、技能を遺憾なく発揮して攻撃目標を奪取し、任務を完遂した。陸曹候補生からは「厳しい訓練でしたが、履修前教育で学んだ成果を十分に発揮できました。」との声が上がりました。入校に向けた自信の付与に繋がった。

平成30年度 新隊員特技課程及び一般陸曹候補生課程後期教育

一般陸曹候補生課程後期教育



特科隊長からの訓示受け(7月4日 教育開始式)



真剣な眼差しで教官の話を聞く隊員

隊は平成30年7月2日(9月19日)までの間、新隊員特技課程及び一般陸曹候補生課程後期教育を担当している。この教育は99式155ミリ自走りゅう弾砲の基礎を修得させるもので、現在27名の隊員が教育を受けている。9月12日に総合訓練が行われ、9月19日の教育修了式後は、第11特科隊及び第10普通科連隊に配置される予定。

余市紅志高校防災訓練支援

平成30年6月6日、北海道余市紅志高等学校が実施した防災訓練の支援を行った。

本支援は、防災意識の高揚を図り、非常時に対処できるように訓練することを目的として、昨年引き続き、学校からの要請を受け行われたもので、教諭及び学生、約130名に対して、人命救助システムの機能・操作要領を説明し、発電機を使用

した救助用油圧器具の実演を行った。その後、教諭及び学生が実際に、機器の操作を行い、「こんな重い器材を操作するためにどんな訓練をしているのか」、「僕でも自衛隊に入ってやってみますか」など、多くの質問があり、関心の高さを伺えるとともに、地域との連携及び募集協力関係の強化を図ることが出来た。

機器の機能・操作要領の説明 (本部管理中隊 玉利3曹)



平成30年度防災懇談会

平成30年6月13日、真駒内駐屯地において防災懇談会を行った。

本懇談会は、特科隊の災害派遣等担当市町村の防災担当者(小樽市、積丹町、古平町、仁木町、余市町、赤井川村)を招き、自治体の防災等に係る現状及び問題点を把握するとともに、今後の連携の在り方について意見を交わした。

また、昨年引き続き海上自衛隊から余市防備隊防備司令(前司令 三上1等海佐)以下3名の参加を得て、連携の強化を図った。懇談会終了後、隊員クラブにおいて懇親会を行い、各自治体及び海上自衛隊との親睦を深めた。

各自治体と担当中隊との懇談



海上自衛隊の防災対策紹介



自治体の防災に係る現状を確認



平成30年度自衛官等募集内容

- ・一般幹部候補生
資格:22歳以上27歳未満の者
- ・予備自衛官補一般
資格:18歳以上34歳未満の者
- ・自衛官候補生(男子)
資格:18歳以上27歳未満の者
受付期間:年中行っております。
試験日:受付時にお知らせします。

防衛省自衛隊札幌地方協力本部南部地区隊
〒005-0008 札幌市南区真駒内17番地
携帯 070-6589-0123
広報官 藪本1曹(元11特科隊)

平成30年度

第11旅団友の会1日体験入隊

平成30年6月29日、真駒内駐屯地総合グラウンドにおいて平成30年度第11旅団友の会1日体験入隊行事の部隊訪問を担当した。本訪問は、旅団友の会1日体験入隊行事参加中、特科隊やまぶき会入会予定者でもある上参郷氏、小林氏の2名が、隊長、副隊長、各中隊長、各科長及び隊長最前任上級曹長の自己紹介を受けるとともに、第1科総

火砲の説明



陣地進入の展示



務幹部による特科隊の概要説明及び隊の主要装備品である99式155ミリ自走りゅう弾砲の陣地進入から射撃までの一連の動作の展示を見学した。展示説明を受けた2名は99式155ミリ自走りゅう弾砲の迫力ある陣地進入等に歓声をあげるほか、火砲をバックに記念撮影を行い部隊訪問を終えた。

火砲の前で記念撮影



特科隊の概要説明



第11旅団10周年記念行事

平成30年6月2日「かど」に入場し隊の威容を示すとともに、観閲行進で音楽祭り並びに、6月3日、真駒内駐屯地で行われた第11旅団創立10周年及び真駒内駐屯地開庁64周年記念行事に参加した。6月2日の音楽祭りでは、ファッションショーが行われ、特科隊員が旧制服や旧迷彩服を着て参加し、観客を沸かせた。6月3日の記念式典では、隊長を先頭に堂々とした行進で総合グラウン

隊長を先頭に堂々とした行進



特科隊の行進開始



りゅう弾砲の迫力ある行進



旧戦闘服と旧迷彩服

隊創立10周年行事

平成30年7月20日、札幌市内部外施設において、隊創立10周年行事として式典を行った。

本行事に隊員約100名のほか、特科隊隊区の町村長をはじめ、やまぶき会、家族会、11特OB会等、部隊及び自衛隊の協力団体の方々、約70名が参加し、隊員の融和団結を図るとともに特科隊の役割や部隊の活動を広報し、協力基盤を確立した。

当初の式典では、平成30年7月豪雨の被災者、犠牲者の方々に哀悼の意と災害派遣の自衛隊の活動内容と紹介するとともに、隊長、ご来賓のやまぶき会会長山本氏による挨拶及び第11通信隊の編集、第11音楽隊の一部編曲によって制作された第11特科隊10周年ビデオ

特科隊員10周年記念撮影



を上映して、隊の軌跡等を披露した。

その後、11特OB会共催により会食が行われ11特OB会会長黒田氏及びやまぶき会副会長兼幹事長大川氏の挨拶、隊員による音楽演奏のもと参加者全員で斉唱した特科隊歌等で会場内の士気を高め、最後は、今年度、旅団長感謝状を受賞した隊友会定山溪支部長張替氏の挨拶等をもって、記念行事を閉会した。



会食の雰囲気を盛り上げた隊員による音楽演奏



特科隊の10年の軌跡を紹介したビデオ

第52回おたる潮まつり参加

隊は、平成30年7月28日、小樽市で実施された「第52回おたる潮(うしお)まつり」の潮ねりこみ(踊りのねり歩き)に参加した。

おたる潮まつりは、7月27日、28日、29日の3日間行われ、7月28日の潮ねりこみには、92団体、約7000名が参加し、特科隊は昨年を引き続き約50名が参加した。

参加隊員全員で平成30年7月豪雨災害における黙とうを行った。

集合場所の花園グリーンロードには、潮ねりこみの指導をして頂いた藤間扇玉先生のほか、自衛隊小樽協力会会長兼やまぶき会会長の山本氏、自衛隊小樽協力会副会長兼やまぶき会副会長兼幹事長の大川氏を含め自衛隊小樽協力会・やまぶき会会員の方々が応援に駆け



自衛官らしい力強い踊り

け特科隊員を激励していただいた。

また、会場に訪れた多くの観衆に自衛官らしい力強さや息のあった踊りを披露するとともに札幌地方協力本部の広報官と連携して自衛隊員募集の広報を行った。



札幌地方協力本部の広報官と連携した募集広報



7月豪雨災害に対する黙とう

転入者紹介

隊本部

三等陸佐 角谷 昭宏
富士学校(富士)より

本部管理中隊

二等陸尉 関戸 乾輔
美唄駐屯地業務隊(美唄)より

陸曹長 小山田 四男
第二特科連隊(旭川)より

三等陸曹 小池 将吾
特科教導隊(富士)より

第一中隊

三等陸曹 崎山 拓祐
第一特科隊(北富士)より

ようこそ特科隊へ。
これからよろしく
お願いいたします。

転出者紹介

隊本部

三等陸佐 赤澤 宏人
陸上幕僚監部指揮システム
情報部(市ヶ谷)へ

本部管理中隊

一等陸曹 稲村 宏美
俱知安駐屯地業務隊(俱知安)へ

二等陸曹 三枝 健太郎
第一特科隊(北富士)へ

三等陸曹 丸岡 克哉
第二特科連隊(旭川)へ

第一中隊

三等陸尉 能登 直
自衛隊体育学校(真駒内)へ

第一中隊
二等陸曹 山田 直人
札幌駐屯地業務隊(札幌)へ

二等陸曹 宇津野孝博
函館地方協力本部(函館)へ

第二中隊

陸曹長 津久井 源揮
武器学校(土浦)へ

第三中隊

三等陸尉 城谷 文雄
札幌地方協力本部(俱知安)へ

二等陸曹 杉坂 英倫
北部方面総監部付隊(札幌)へ

新任地での
ご活躍を
お祈りいたします。

定年退官者



内田 准尉
30.6.25付
(札幌市)

※()については定年後の就業地

永きに亘る北の防人
お疲れ様でした。

七月昇任者紹介

三等陸佐へ
早坂 剛 (第三中隊)

一等陸尉へ
望月 大 (本部管理中隊)

二等陸尉へ
原 冬樹 (第一中隊)

准陸尉へ
大槻 哲 (第二中隊)

戸塚 丈仁 (第三中隊)

陸曹長へ
片山 隆志 (本部管理中隊)

菊池 裕司 (第一中隊)

一等陸曹へ
稲村 宏美 (元本部管理中隊)

工藤 順章 (本部管理中隊)

寺島 久幸 ()

金子 辰徳 ()

二等陸曹へ
松本 真広 (本部管理中隊)

阿武 啓太 (第二中隊)

野田 宏和 (第三中隊)

三等陸曹へ
坂野 大空 (第一中隊)

相川 卓斗 (第二中隊)

保田 元気 ()

高野 裕稀 (第三中隊)

陸曹候補生等指定
佐藤 陽介 (本部管理中隊)

伊保 俊輝 ()

橋本 理玖 (第二中隊)

金川 淳希 (第三中隊)

OBの方へ連絡とお願い

一 入門証について

現在、期限切れの入門証をお持ちの方で今後も必要とされる方は、更新手続きをお願いいたします。手続きに関しては、「特科隊 広報・援護室」にて行っています。

電話〇一一一五八一―三一九一
(内線二六四七) 担当 嶋田

二 叙位及び死亡叙勲に関する手続きについて

自衛隊員として勤務され、在職中の功績と一定の要件が満たされた方は叙勲の対象となります。特に死亡叙勲は、ご遺族からの申し出によって手続きを進める事になります。手続きの期間が限られており、この期間を過ぎますと叙勲が受けられなくなりますので、万が一ご本人が亡くなられた場合には、死亡日を含め五日以内に最寄りの防衛省各機関、部隊等へ連絡することをご家族共々くれぐれもお忘れの無いようお願いいたします。

三 その他

特科隊隊舎一階には特科連隊時代の歴史を展示した広報展示室がございます。ご訪問の際にはお気軽にお立ち寄りください。

電話〇一一一五八一―三一九一
(内線二六四六) 担当 吉田

